



～季節の花便り～

夏の日差しに負けない“**ビタミンカラー**”

**ジニア**が見頃です！！



(平成二十三年七月二十五日撮影)

謹啓 猛暑の候 皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

花が少なくなる夏ですが、現在、越後丘陵公園の「太陽の丘」で **20,000 株のジニアが見頃**となっておりますのでお知らせいたします。

ジニアは、開花期間が長く、夏の日差しに負けない力強い花姿と、鮮やかでカラフルな花色が特徴です。一般的には「ヒャクニチソウ(百日草)」の名前でも親しまれています。

本公園では、このような特長のあるジニアから暑い夏を乗り切る“元気”を感じていただこうと、昨年初めて植えました。今年で2回目となります。

花は9月下旬まで、約2ヶ月の間お楽しみいただくことができます。夏の日差しをたっぷり浴びたビタミンカラーの花々をごゆっくりお楽しみください。

つきましては、皆様にはご多忙中のことと存じますが、取材並びに記事掲載の程よろしくお願い申し上げます。

謹言

【 お問合せ先 】

〒940-2082 新潟県長岡市宮本東方町字三ツ又 1950-1  
越後公園管理センター 業務課企画係 担当:田中・山野・今村  
電話 0258-47-8001 FAX 0258-47-8002  
企画係携帯 090-7847-5001 公園 HP <http://echigo-park.jp>



## ● ジニア

### キク科ジニア属

園芸品種のジニアは1年草で、主にメキシコ原産の原種がもとになっています。日本には、幕末に遣欧使節によってヨーロッパから持ち込まれました。「ジニア」の名は、ドイツ人の植物学者ツイン(J.G.Zinn)に因みます。

和名を「ヒャクニチソウ(百日草)」と呼びますが、1つの花が100日間咲き続けると言う意味ではなく(1つの花の開花期間は10~15日程度)、同じ株に次々とつぼみがついて花が咲くことから、開花期の長いこと、花持ちのよさを表しています。

別名の「チョウキュウソウ(長久草)」や「ウラシマソウ(浦島草)」も同様です。

ジニアはタンポポやアジサイと同様に、何百ものたくさんの花が集まって1つの形を作っています。花の芯の部分には筒状の花が集まり、星型に形を作り、周りには舌状の花が並んで花びらの形を作っています。

遠くから一面に咲くジニアを楽しむのもおすすめですが、近づいて花のつくりを観察してみたいはかがでしょう。

参考資料:NHKテレビテキスト 趣味の園芸(日本放送出版協会)



ジニアの中心をよく見ると、花のつくりが分かります。

現在、見頃!!(～9月上旬頃まで)

開花:9月下旬まで

## ● 越後丘陵公園のジニア

### ◆手のひらサイズの大きな花

園芸種のジニアは、一重の小さい花が数多く咲く品種をよく見かけますが、本公園で植えているジニアは菊咲きの大輪系で、1つ1つの花にボリュームがあり、写真のような手のひらサイズの大きな花が咲くのが特長です。

花色は、緋赤色、濃い黄色、濃い桃色、濃い紫紅色、純白などの色をミックスで植えています。



実際に手のひらと比べると、その大きさが分かります!

### ◆花を長く楽しんでいただくための工夫

越後丘陵公園では、1つの花が終わった際に花がら摘みや切り戻しをこまめに行ったり、追肥をすることで、新たな「脇芽」の形成を促し、新しい花を次々と咲かせる工夫をしています。

また、枯れた花が残るとそこから病気が発生する原因になるため、花がら摘みを行うことで、株を健康に保つ効果もあります。

これらの工夫により、少しでも長く見頃の状態を保ち、9月下旬までお楽しみいただけるようにしています。



(平成二十三年七月二十五日撮影)